

きっかけ・事実

日本全体で見ると、兵庫県は人口が多い県であるが、兵庫県を詳しく見てみると、田舎と都市部の人口の格差が大きくなっていることに気が付いた。そこで、この格差を減らすためにはどうしたら良いのかを考えるべきだと思い、調べてみようと思ったから。

問題提起・仮説

田舎を住みやすくするためには、どうしたらいいのか

仮説①

都市の人口と、田舎の人口では、人口の差が大きくなっているのではないかな

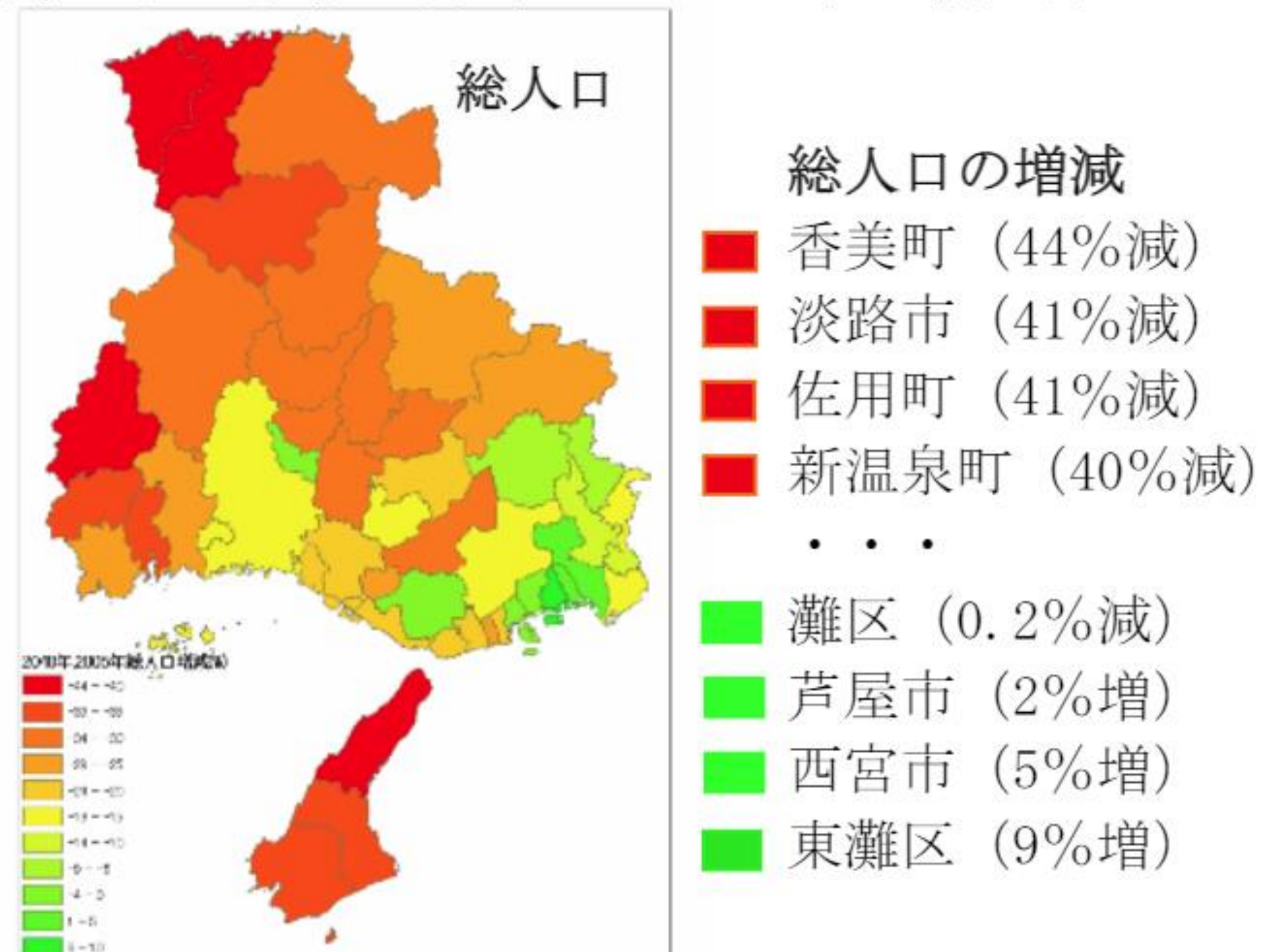
田舎よりも都市の方が人数が多く、田舎の人数減少がみられるのではないかな。

仮説②

これから先、兵庫県から出ていく人が増え、兵庫県全体の人口は減少していくのではないかな

検証①「兵庫県の人口はどのように減少していくのか。

市区町単位の人口推移予測（2005→2040年の増減率）



図を見ると、北部と淡路島の人口は減少率が高いのに対して、南部の人口は、北部の人口に比べると、減少率が低くなっていることがわかる。南部は人口が減少しているだけでなく、僅かに人口が増加している場所も見られる。

都市と田舎の希望

<都市>

電気自動車やハイブリッドカーの利用者を増やして、空気をきれいにしたい！

<田舎>

交通機関を発達させて、電車賃を安くしたい！



～行政にできること～

- ・電車の本数を増やす
- ・給料の差額の見直し
- ・余ってる土地の使い方の見直し

～高校生にできること～

- ・公共広場のゴミ拾い
- ・お客様アンケートに自分の意見を書き込む

～都市と田舎を共生する為に～

普段農業や自然に触れ合う機会がない子供たちに、高校生が農業体験グループのリーダーとなって、農業の良さを伝える。



今後の課題

現在は、田舎よりも都市部の方が人数が多く、交通機関も都市部の方が発達しているが、今後は、コロナウイルスの影響により、都市部から田舎へ、移動する人が多くなると考えられるので、都市部の人口が急激に減らないようにするためには、どうしたら良いのかを考える必要がある。

参考文献

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk44/documents/ze-ntaiban.pdf>